

近所づきあい

Profile 1940年静岡県生まれ。さまざまな職業を経て'76年に小説家デビュー、'80年に直木賞受賞。執筆の傍ら、テレビでも活躍。不登校児の支援など、社会的活動にも携わっている。

悩めるあなた、丸ごと受け止めます！

志茂田景樹の 連載第16回

あたためるコトバ

Twitterでの人生相談が大反響の志茂田景樹先生が、読者のお悩みに答えます！

距離を置いてつきあいたいのに……

U・Nさん (35歳)

ご近所とは距離を置いて付き合いたい私。玄関で、隣人が奥をのぞくような仕草をすると嫌で……。気にし過ぎでしょうか？ 無難な関係を保つ方法ってあるのでしょうか。

近所の雑用を押し付けられて……

N・Sさん (41歳)

集合住宅に越してきて3年。最近、年長の隣人たちに用事を押し付けられます。ゴミ管理、草刈り、交通当番……。仕事や家事もあるから無理！と言いたけれど、「私たちは体が辛くて。若いっていわね〜」と言われると、断れません。

段階を追ってフェードアウト作戦！

きつとその人たちは、「便利なん」を探していたんでしょね。あなたは不運にもその網にかかってしまったわけですが、今からでも脱出は可能です。

まず、「仕事が忙しくなった」「家

「自分を守りたい自分」を肯定しよう
家の奥をチラッと見るのは、ご近所さんにはよくある行動ですから気にしなくてOK。
それでも気になるのは、あなた自身が「ご近所づきあいを重く感じる自分」を気にしているせいかもしれません。ドライな気持ちで距離を置きたいというより、自分を「守りたい」



族の世話が大変なの」など、口実を設けて多忙をアピール。次いで、3回に1回くらいの頻度で断り、だんだんその回数を多くしてきて、1年くらいかけてじっくり取り組むうち、向こうも新しいターゲットを見つけては。大事なのは、断った後で罪悪感を持たないこと。引き受ける義務など本来ないのですから、居心地悪く感じたりしないで。その後も堂々と笑顔で接すれば、お互い気持ちよいい関係を保てます。

管理人のセクハラが気持ち悪い！

K・Mさん (32歳)

マンションのおじいさん管理人が、会うたび「どこ行くの」「髪がきれいだねえ」「体細いねえ」と言ってきてゾ〜ッ！今は管理人の休憩時間を狙って出かけたり、スマホで通話するフリをして足早に通り過ぎたり。毎日、不自由でたまりません。

相手の勘違いを「冷静に」正すのが吉

この人は単にあなたを褒めたいだけで、基本的に無害です。ただ、困ったことに「褒めたら相手は喜ぶ」と勘違いしている模様。セクハラという考え方が浸透する前の世代に多いタイプです。こういう人は、あなたが嫌がるのを見ても「照れちゃって〜」と、かえって喜んじやうの。

強い心のこと、否定してはいけません。繊細で感じやすい人ならではの自然な心理ですから、そのままでもいいのです。ただ、「そんな人は自分だけではない」ということも知っておいて。ネット掲示板などでは、同じ悩みを持つ人がたくさんいます。サイトを見たり、ときに書き込んだりすると、気が楽になりますよ。



今月の KAGEKI FASHION

春の陽気にピッタリのアウトドアスタイル。白のトップスとカラフルなボトムスのコントラストも絶妙！

カゲキ先生に相談したいお悩みはこちらへ！

「①氏名②掲載希望名③年齢④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦お悩みの内容」を記載のうえ、下記の宛先までメールまたは郵便でお寄せください（電話またはメールで、お悩みに関する質問をさせていただくことがあります）。掲載された方には図書カード¥2,000分をプレゼントします。

【宛先】●メール kageki@karakoto.com ●郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル5F からだにいいこと編集部「あたためるコトバ」係